

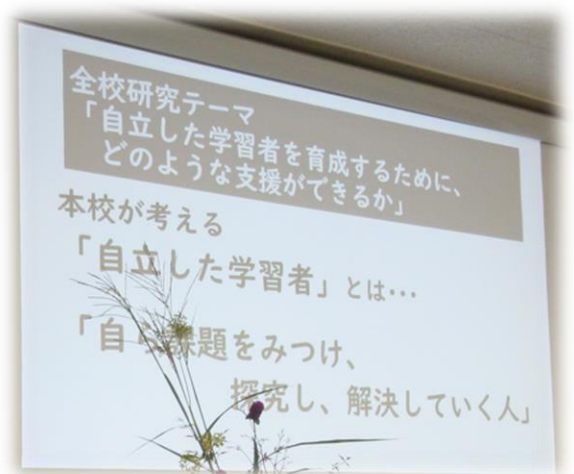
教育課程をふり返って・・・

先月11日に教育課程が行われました。もう一月も経ってしまいましたが、もう一度ふり返ってみましょう。

教育課程が行われた中川中学校は『子どもの課題は教師の課題』と捉え、研究テーマ「自立した学習者を育成するためにどのような支援ができるか」から、「自立した学習者とは」・・・「自ら課題を見つけ、研究し、解決していく人」と考え、授業を進めているそうです。

音楽科における「自立した学習者」を

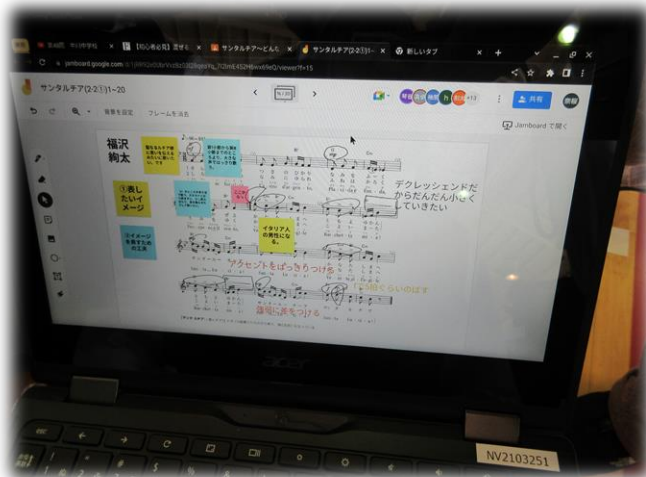
- ・主体的に表現する生徒
- ・自分はどう表現したいかと願いをもつ生徒
- ・自分なりに見通しをもって、粘り強く追究する生徒としています。



2年2組で行われた授業は、「曲の後半部分について自分が表現したい「サンタルチア」のイメージをもった生徒たちが、表現するために必要な要素（強弱やアクセント・フェルマータなど）に着目して表現方法の工夫を考え、クラス全体で仲間が考えた工夫を歌い試したり、仲間が考えた工夫を聞いて自分の考えた工夫と比べたりする活動を通して、曲の後半部分について自分が表現したい「サンタルチア」のイメージにさらに近づくための工夫を考えることができる。」を主眼とし進められていきました。

生徒がもつ「サンタルチア」への思いは、一人一人違い、「イタリア人のイカつい感じで歌いたい。」や、「のびのびした感じで歌いたい。」等々…。前時に鑑賞したものからイメージをもっていたように思います。

広い体育館で行う授業。大勢の人に囲まれて緊張している様子も伺いましたが、ICT端末には、自分の思いが書き込まれ、それぞれの思いはそちらに込められていたように思いました。また、最後のふり返りでは、「イメージは考えられたけれど、歌うのは難しかった。」とN児が話していましたが、イメージを歌で表現するのは本当に難しいことですね。



～先生方からの感想（抜粋）～

○研究について

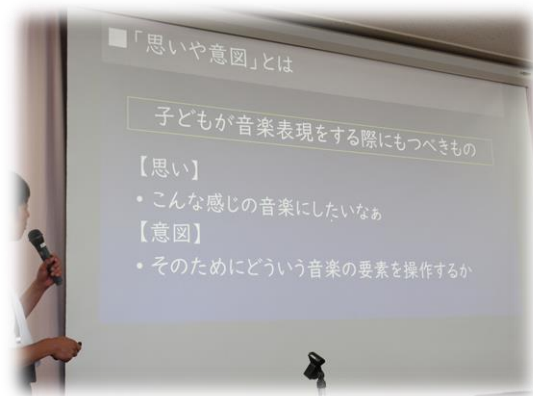
- ・生徒さん一人ひとりに寄り添い、それが指導の改善に直結していて素晴らしい。
- ・子どもの実態、教師、保護者の願う子ども像からテーマ、方向性を決めていたとのことだったが、子どもはどんな願いを持っているのか知りたいと思った。
- ・貴校の三本柱によせて、アプローチしていきたいという中川中の先生の熱意が感じられました。



○公開授業について

- ・ICT が効果的に使われ、さっと友だちと意見交換ができ、あたたかい学級と感じた。発言の声や歌声が後ろまで聞こえてこなかったのが残念。
- ・考えたり書いたりする活動が多いと思った。歌って試す、声に出してみる時間がもっとあると良いともう。
- ・歌唱ということで、歌がもう少し歌えればなあと感じた。同じイメージをもった人とイメージの共有をしたので、同じイメージを持った人たちと歌う等歌う時間があれば良かったなと思った。
- ・ICT を使って学習を進めていることはよいが、音楽学習なので、音を通して学習を進めて行きたいと思う。今日は ICT に書いたり書いたことを発表することはできたが、音がなかなか聴かれなかった。表現することを大事にしたいと思った。

多くの方がお書きになっているように、chromebook の使用がスムーズでした。小学生の頃からどしどし使っていた子どもたちですので、当たり前のように使えていたように思います。午後の時間に主事の先生から ICT 使用の度合いを聞かれた際、ほとんどの先生方が 2 段階以上で挙手をされていて、多くの皆さんが ICT を使って授業を進めていることが分かりました。ただ、地域によって使えるツールが少なかったり、未だに整っていない面もあるので、どの地域でも使えるようになることを県や教育委員会の方でも考えていただければと思います。できれば異動先ですぐに使えるように、県で使えるものを統一してもらえることが理想です。



午後は、長野県総合教育センター教科教育部専門主事の石田雄太先生から探求する授業「個別最適な学び」と「協働的な学び」についてのお話や「指導と評価の一体化」等についてのお話がありました。本時の授業に沿ったお話しの中では、多くの方から意見が出た「なぜグループでなくみんなで歌ったか」というのに対し、「学びの中から取り残されないように位置づけ、子どもたちの実態に合わせていた。」というお言葉がありました。「取り残されないようにする」という配慮。大事な言葉だと感じました。

～授業者 寺平先生のご感想～

授業を参観していただき、ありがとうございました。「歌うこと」は表現活動の基本でありながらも、声を出すことや自分の考えに自信がもてない生徒に対する支援をどうしていったらよいのか、悩みながらつくった授業でした。

先生方からご意見をいただく中で、「曲に対するイメージの持たせ方」「イメージと実際の表現の結びつけ方」に課題を感じました。また、音楽の授業である以上は、ICTを上手く使いながらも「音」を介して考えを深めたり、授業を展開したりしていくことの大切さを改めて感じました。

「サンタルチア」の最終授業の際には、リラックスした様子で一人一人歌い試す姿がありました。歌うことを少しでも「楽しい」と感じてもらえたり、自分の考えに自信をもつことができたりするような授業を目指して、これからも研究を進めていきたいと思えます。

多くのご意見をいただき、ありがとうございました。(中川中学校 寺平 有希)

教育課程の良いところは、授業を参観し、学べるところ。自分がどのようにすれば良いのかを考え、自分ならこうやるかなと考えられることだと思えます。

学校へ戻り、子どものために日々の授業をさらに向上できるように日々トライしましょう！

改めまして、寺平先生、中川中学校の先生方ありがとうございました。

♪わすコンサートのお知らせ♪

今週末の9日(土)、高遠美術館ホールにて4年ぶりとなるわすコンサートが開催されます。音研会員の先生方やご家族、先輩等5組が参加予定で、ピアノ連弾、リコーダーメドレー、二重唱、ピアノ独奏、女声アンサンブル等、曲目もバラエティに富んでいます♪ぜひ、足をお運びください！